

リフォーム前



お母様がおひとりでお住まいの、築48年の木造2階建て住宅。二間続きの和室に広縁、客間、おひとりでご過ごすには十分すぎる広さ。また、和室のある西側の基礎や外壁は、特にひび割れなど劣化がひどかった。そこで、和室部分を解体・減築し、そのスペースを月極駐車場として有効活用することに。

子供が独立し、夫婦ふたりもしくはひとりになると、あまりにも広い家は効率的ではなく、防犯面での不安や冷暖房費も余分にかかる。今回は、生活スタイルにマッチした住空間にするためのリフォーム、これから増えていくだろう“減築リフォーム”となった。



■和室

昔ながらの二間続きの和室。大工さん造りの手間のかかった材料の床柱・障子などは、新設の和室に加工・移設し再利用。



■LDK 居住スペースであるリビングには、窓がないため光が入らず、昼間でも暗かった。



■外観

リフォーム後



■和室 明るく、落ち着いた雰囲気的空間。



■玄関及びアプローチ

■庭園

駐車場の残りの敷地をコンパクトながらも広がりのある庭へ。リビング・和室は、庭とのつながりを確保し、光と風が入るよう工夫。

既存を活かしつつ、底など劣化がある所はやり替え、明るい玄関に。



■トイレ



■浴室



■干場

洗面脱衣室のすぐ横に干場を配置。洗う→干すがスムーズな動線に。



■LDK 壁・天井に断熱工事を施し、夏は涼しく冬は暖かい快適なリビングに。造作棚は、オーダーメイド。

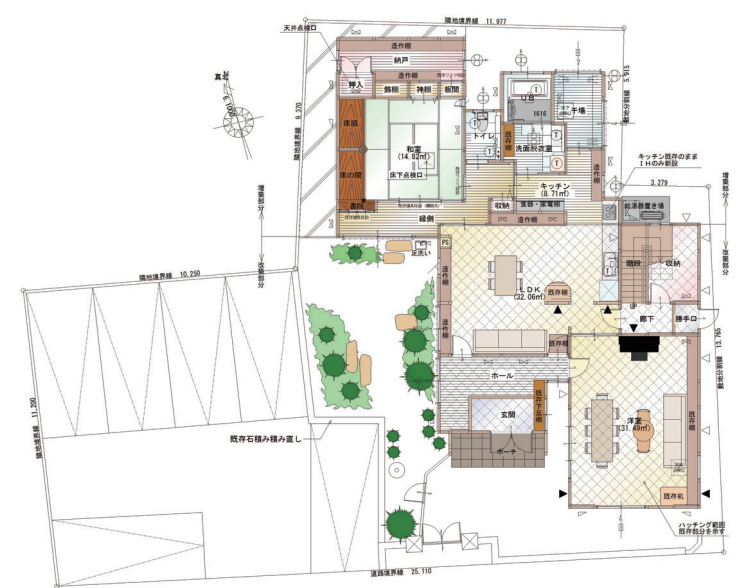
リフォーム前平面図



設計施工のポイント（増改築等の工夫）

- ・今回増築の和室には、既存の和室で使用していた床柱や障子などを加工・再利用し、新しい中にも懐かしさを感じることができる。
- ・水回りが一カ所にまとまった家事動線と廊下を設けず生活スペースを一周できる回遊動線で家事効率アップし暮らしやすさを実現。
- ・庭を造り、景観をよくしつつ、お母様が普段過ごすことの多い和室とリビングに庭を通して光と風が入るよう工夫。
- ・天井、壁、床に断熱材を設置し、断熱性能の向上を図った。
- ・窓は、内窓の取付やカバー工法により複層サッシに交換。
- ・古くなっていた設備関係は交換し、浴槽は高断熱浴槽のユニットバスへ、便器・洗面化粧台は節水型とし省エネ化を実現。
- ・地中に埋まっていた配管は、維持管理しやすいようヘッダー方式にやり替えた。
- ・長期優良住宅、BELSの認定申請を行い、性能を高めつつ住宅への付加価値をプラス。

リフォーム後平面図



応募者

設計者

施工者

築年数

構造

建方形式

竣工

工事期間

工事費

リフォーム内容

(有)ゆうあいプラン

(有)ゆうあいプラン

高吉 辰典

48年

木造

一戸建て

2019年3月

180日間

2100万円

減築・増築・耐震補強・断熱・外装・内装・設備